

1. 科目名 (単位数)	子ども家庭福祉特論 (2 単位)	池袋・名古屋	3. 科目番号	EDMP5348 EDMP5316
2. 授業担当教員	水島 正浩			
4. 授業形態	講義、演習、プレゼンテーション		5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係	1年生			
7. 講義概要	<p>家庭の状況や生活、地域の環境等は子どもの成育に多大な影響を及ぼしている。本講義では、そうした子どもを取り巻く家庭や生活、地域環境の中であって、子ども家庭福祉の果たす役割や内容について、理論的変遷や政策展開等を理解する。また、子どもをめぐる諸課題に対する福祉援助(スクールソーシャルワーク等)による支援方法や具体的実態について探索し、考察を深める。さらに、子どもをめぐる諸課題について取り上げ、これまでの取組みや研究等を踏まえた福祉援助(スクールソーシャルワーク等)を活用した解決に向けての援助プランを構想する等、実践的な学びを深める。</p>			
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>子ども家庭福祉の果たす役割や内容について、理論的変遷や政策展開等を理解し、今後のあり方についての自身の考えを構想する。</li> <li>子どもをめぐる諸課題に対する福祉援助(スクールソーシャルワーク等)による支援方法や具体的活動について探索し、自身の考えを構想する。</li> <li>子どもをめぐる課題について取り上げ、福祉援助(スクールソーシャルワーク等)を活用した解決に向けての援助プランを構想する。</li> </ol>			
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<p>以下3点の課題に対する自身の見解、分析結果等についてまとめ、提出及び発表を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>子ども家庭福祉の果たす役割や内容について整理し、今後のあり方について自身の見解をまとめる。</li> <li>自身が着目する子どもをめぐる課題に対する福祉援助(スクールソーシャルワーク等)の支援方法や具体的活動について探索し、自身の見解をまとめる。</li> <li>自身が着目する具体的事例を提示し、福祉援助(スクールソーシャルワーク等)を活用した援助プランを作成する。</li> </ol>			
10. 教科書・参考書 ・教材	<p>【教科書】 日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新社会福祉士養成講座 児童・家庭福祉』中央法規</p> <p>【参考文献】 山野則子他編著『よくわかるスクールソーシャルワーク』ミネルヴァ書房</p>			
11. 成績評価の規準と 評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>子ども家庭福祉やスクールソーシャルワークの必要性や内容を理解し、説明ができる。</li> <li>子どもを取り巻く諸課題に対する具体的活動の調査や援助プラン作成を通じて、福祉的視点で解決法を構想できる。</li> <li>ディスカッションやプレゼンテーションなど通してスキルを向上させ、活用することができる。</li> </ol> <p>○評定の方法 授業への積極的な参加度40%、課題60% (①②③各20%)</p>			
12. 受講生への メッセージ	<p>子ども家庭福祉とは何か、現在の状況を理解して頂きながら理解を深めて頂きたいと考えています。また、具体的な事例や研究調査、受講生の持つ経験なども共有しながら、諸課題について考察を深めていって頂きたいと考えています。従いまして、受講生の状況に応じて、適宜授業内容や課題等を変更していきたく思います。</p>			
13. オフィスアワー	授業中に通知する。			
14. 学習の展開及び内容【テーマ、学習の目標、学習の内容、キーワード、学習の課題、学習する上でのポイント等】				
1. テーマ	オリエンテーション			
	<p>【学習の目標】 シラバスの確認等を行い、講義概要や課題等を理解する。</p> <p>【学習の内容】 講義の目的、課題や評価、各講義の内容等を確認する</p> <p>【キーワード】 子ども家庭福祉 スクールソーシャルワーク</p> <p>【学習の課題】 シラバスや各講義の内容について整理し、互いの交流を図る。</p> <p>【参考文献】 教科書 参考文献等の紹介</p> <p>【学習する上での留意点】 教員及び各受講生の自己紹介通して互いの理解を深める。</p>			
2. テーマ	子ども家庭福祉の果たす役割や内容について			
	<p>【学習の目標】 子ども家庭福祉の果たす役割や内容について理解する。</p> <p>【学習の内容】 教科書や資料等を基に、子ども家庭福祉の果たす役割や内容について理解する。</p> <p>【キーワード】 子ども家庭福祉</p> <p>【学習の課題】 子ども家庭福祉の果たす役割や内容について整理する。</p> <p>【参考文献】 日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新社会福祉士養成講座 児童・家庭福祉』中央法規</p> <p>【学習する上での留意点】 我が国においてなぜ子ども家庭福祉が必要となったのかについて理解を深める。</p>			
3. テーマ	子ども家庭福祉の理論的変遷について			
	<p>【学習の目標】 子ども家庭福祉の理論的変遷について理解する。</p> <p>【学習の内容】 教科書や資料等を基に、子ども家庭福祉の理論的変遷について理解する。</p> <p>【キーワード】 子ども家庭福祉 理論的変遷</p> <p>【学習の課題】 子ども家庭福祉の理論的変遷について整理する。</p>			

	<p>【参考文献】 日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新社会福祉士養成講座 児童・家庭福祉』中央法規</p> <p>【学習する上での留意点】 我が国においてどのように子ども家庭福祉の理論が変遷してきたのか理解を深める。</p>
4. テーマ	子ども家庭福祉の政策的展開について
	<p>【学習の目標】 子ども家庭福祉の政策的展開について理解する。</p> <p>【学習の内容】 教科書や資料等を基に、子ども家庭福祉の政策的展開について理解する。</p> <p>【キーワード】 子ども家庭福祉 政策的展開</p> <p>【学習の課題】 子ども家庭福祉の政策的展開について整理する。</p> <p>【参考文献】 日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新社会福祉士養成講座 児童・家庭福祉』中央法規</p> <p>【学習する上での留意点】 我が国においてどのように子ども家庭福祉の政策が展開されてきたのか理解を深める。</p>
5. テーマ	今後のあり方について
	<p>【学習の目標】 子ども家庭福祉の今後のあり方について自身の見解をまとめる。</p> <p>【学習の内容】 子ども家庭福祉の果たす役割や内容について、ディスカッションを行い今後のあり方を考察する。</p> <p>【キーワード】 子ども家庭福祉 今後のあり方</p> <p>【学習の課題】 以下の課題に対する自身の見解、分析結果等についてまとめ、ディスカッションを行う。 ①子ども家庭福祉の果たす役割や内容について整理し、今後のあり方について自身の見解をまとめる。</p> <p>【参考文献】 日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新社会福祉士養成講座 児童・家庭福祉』中央法規</p> <p>【学習する上での留意点】 自身の考えを整理して表明し、相互に考えを深める。</p>
6. テーマ	課題①
	<p>【学習の目標】 子ども家庭福祉の果たす役割や内容について、理論的変遷や政策展開等を理解し、今後のあり方を構想する。</p> <p>【学習の内容】 子ども家庭福祉の果たす役割や内容について理解し、今後のあり方への自身の考えを発表する。</p> <p>【キーワード】 子ども家庭福祉 役割や内容 今後のあり方</p> <p>【学習の課題】 以下の課題に対する自身の見解、分析結果等についてまとめ、提出及び発表を行う。 ①子ども家庭福祉の果たす役割や内容について整理し、今後のあり方について自身の見解をまとめる。</p> <p>【参考文献】 日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新社会福祉士養成講座 児童・家庭福祉』中央法規</p> <p>【学習する上での留意点】 我が国における子ども家庭福祉の歴史や現状について体系的に理解を深める。</p>
7. テーマ	子どもをめぐる課題について
	<p>【学習の目標】 子どもをめぐる諸課題について理解する。</p> <p>【学習の内容】 教科書や資料等を基に、子どもをめぐる諸課題について理解する。</p> <p>【キーワード】 子どもを取り巻く課題</p> <p>【学習の課題】 子どもを取り巻く課題について整理する。</p> <p>【参考文献】 山野則子他編著『よくわかるスクールソーシャルワーク』ミネルヴァ書房</p> <p>【学習する上での留意点】 幅広い視点から課題について捉える</p>
8. テーマ	福祉援助(スクールソーシャルワーク等)について
	<p>【学習の目標】 福祉援助(スクールソーシャルワーク等)について理解する。</p> <p>【学習の内容】 教科書や資料等を基に、福祉援助(スクールソーシャルワーク等)について理解する。</p> <p>【キーワード】 福祉援助(スクールソーシャルワーク等)</p> <p>【学習の課題】 福祉援助(スクールソーシャルワーク等)について整理する。</p> <p>【参考文献】 山野則子他編著『よくわかるスクールソーシャルワーク』ミネルヴァ書房</p> <p>【学習する上での留意点】 福祉援助(スクールソーシャルワーク等)について具体的に把握する</p>
9. テーマ	着目する子どもをめぐる課題について
	<p>【学習の目標】 自身が着目する子どもをめぐる課題について探索する。</p> <p>【学習の内容】 文献やインターネット等を活用し、着目する子どもをめぐる課題の状況について調べる。</p> <p>【キーワード】 子どもをめぐる課題</p> <p>【学習の課題】 自身が着目する子どもをめぐる課題に対する状況を調べ、整理する。</p> <p>【参考文献】 山野則子他編著『よくわかるスクールソーシャルワーク』ミネルヴァ書房</p> <p>【学習する上での留意点】 課題に関する現状について幅広い視点で調べる。</p>
10. テーマ	着目する課題に対する福祉援助(スクールソーシャルワーク等)の具体的活動について
	<p>【学習の目標】 着目する子どもをめぐる課題に対する福祉援助(スクールソーシャルワーク等)による支援方法や具体的活動について探索する。</p> <p>【学習の内容】 文献やインターネット等を活用し、着目する子どもをめぐる課題に対する福祉援助(スクールソーシャルワーク等)による支援方法や具体的活動について探索する。</p> <p>【キーワード】 子どもを取り巻く課題 スクールソーシャルワーク</p> <p>【学習の課題】 着目する子どもをめぐる課題に対する福祉援助(スクールソーシャルワーク等)による支援方法や具体的活動について探索し、整理する。</p> <p>【参考文献】 山野則子他編著『よくわかるスクールソーシャルワーク』ミネルヴァ書房</p> <p>【学習する上での留意点】 課題に関する活動事例や調査について幅広く探索する。</p>
11. テーマ	課題②
	<p>【学習の目標】 着目する子どもをめぐる諸課題に対する福祉援助(スクールソーシャルワーク等)による支援方法や具体的活動について探索し、自身の考えを構想する。</p> <p>【学習の内容】 着目する子どもをめぐる諸課題に対する福祉援助(スクールソーシャルワーク等)による支援方法や具体的活動について探索し、自身の考えを発表する。</p> <p>【キーワード】 子どもを取り巻く課題 スクールソーシャルワーク</p> <p>【学習の課題】 以下の課題に対する自身の見解、分析結果等についてまとめ、提出及び発表を行う。</p>

	<p>②自身が着目する子どもをめぐる課題に対する福祉援助(スクールソーシャルワーク等)による支援方法や具体的活動について探索し、自身の見解をまとめる。</p> <p>【参考文献】 山野則子他編著『よくわかるスクールソーシャルワーク』ミネルヴァ書房</p> <p>【学習する上での留意点】 課題に関する活動事例や調査について幅広く探索して分析する。</p>
1 2. テーマ	子どもをめぐる課題の具体的事例について
	<p>【学習の目標】 自身が着目する子どもをめぐる課題について取り上げる。</p> <p>【学習の内容】 自身が着目する具体的事例を提示できるよう、探索する。</p> <p>【キーワード】 具体的事例</p> <p>【学習の課題】 自身が具体的事例の概要について、提示できるよう整理する。</p> <p>【参考文献】 日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新社会福祉士養成講座 児童・家庭福祉』中央法規 山野則子他編著『よくわかるスクールソーシャルワーク』ミネルヴァ書房</p> <p>【学習する上での留意点】 実際に活用する資源やサービスについても具体的に提示する。</p>
1 3. テーマ	課題に対する福祉援助(スクールソーシャルワーク等)を活用した解決に向けての援助プランについて①
	<p>【学習の目標】 取り上げた課題について、福祉援助(スクールソーシャルワーク等)を活用した解決に向けての援助プランを構想する。</p> <p>【学習の内容】 自身が着目する具体的事例を提示し、福祉援助(スクールソーシャルワーク等)を活用した援助プランを作成する。</p> <p>【キーワード】 スクールソーシャルワーク 援助プラン</p> <p>【学習の課題】 自身の着目する具体的事例を提示し、福祉援助(スクールソーシャルワーク等)を活用した援助プランを作成して発表できるよう準備する。</p> <p>【参考文献】 日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新社会福祉士養成講座 児童・家庭福祉』中央法規 山野則子他編著『よくわかるスクールソーシャルワーク』ミネルヴァ書房</p> <p>【学習する上での留意点】 実際に活用する資源やサービスについても具体的に提示する。</p>
1 4. テーマ	課題に対する福祉援助(スクールソーシャルワーク等)を活用した解決に向けての援助プランについて②
	<p>【学習の目標】 取り上げた課題について、福祉援助(スクールソーシャルワーク等)を活用した解決に向けての援助プランを構想する。</p> <p>【学習の内容】 自身が着目する具体的事例を提示し、福祉援助(スクールソーシャルワーク等)を活用した援助プランを作成する。</p> <p>【キーワード】 スクールソーシャルワーク 援助プラン</p> <p>【学習の課題】 自身の着目する具体的事例を提示し、福祉援助(スクールソーシャルワーク等)を活用した援助プランを作成して発表できるよう準備する。</p> <p>【参考文献】 日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新社会福祉士養成講座 児童・家庭福祉』中央法規 山野則子他編著『よくわかるスクールソーシャルワーク』ミネルヴァ書房</p> <p>【学習する上での留意点】 実際に活用する資源やサービスについても具体的に提示する。</p>
1 5. テーマ	課題③
	<p>【学習の目標】 子どもをめぐる課題について取り上げ、福祉援助(スクールソーシャルワーク等)を活用した解決に向けての援助プランを構想する。</p> <p>【学習の内容】 自身が着目する具体的事例を提示し、福祉援助(スクールソーシャルワーク等)を活用した援助プランを作成し、発表する。</p> <p>【キーワード】 具体的事例 スクールソーシャルワーク 援助プラン</p> <p>【学習の課題】 以下の課題に対する自身の見解、分析結果等についてまとめ、提出及び発表を行う。 ③自身の着目する具体的事例を提示し、福祉援助(スクールソーシャルワーク等)を活用した援助プランを作成する。</p> <p>【参考文献】 日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新社会福祉士養成講座 児童・家庭福祉』中央法規 山野則子他編著『よくわかるスクールソーシャルワーク』ミネルヴァ書房</p> <p>【学習する上での留意点】 実際に活用する資源やサービスについても具体的に提示する。</p>